

# 畑地かんがい営農モデル事業

(公財) 那珂川沿岸土地改良基金協会

調査目的： 那珂川沿岸地域における畑地かんがい効果のPRを目的として、その基礎資料に資するため畑かん実証調査を実施している。

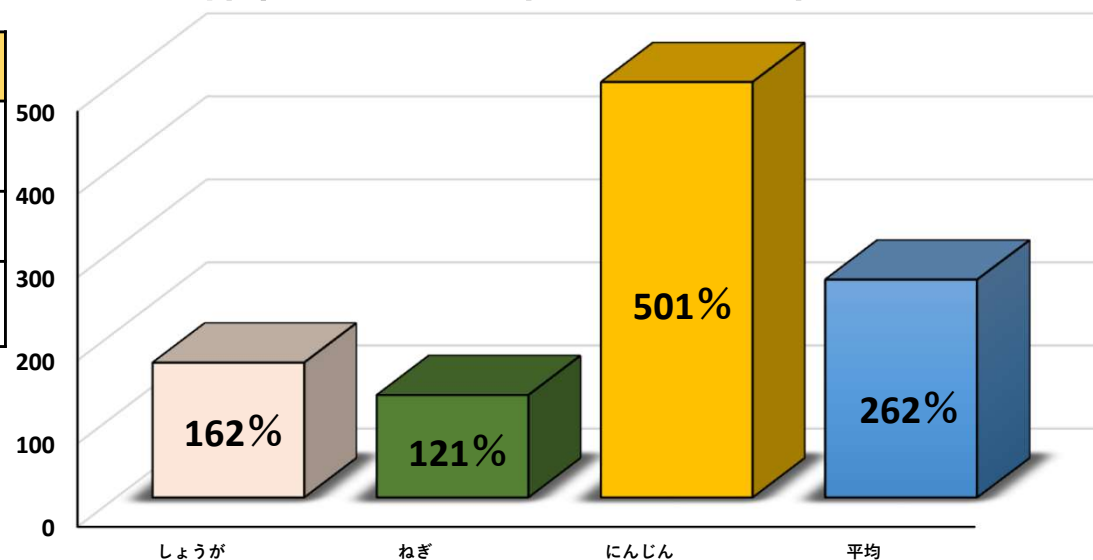
調査概要： かん水と無かん水（天水のみ）区を設置し、かん水効果の実証調査かん水による生育、収量のデータの収集及び分析により、かん水効果の結果をとりまとめた。

かん水区収量比の算出：  $\frac{\text{かん水区収穫量}}{\text{無かん水区収穫量}} \times 100$ （10a当たり）

## 令和 5 年度実績

品目	品種	作付け期間	ほ場位置
1 しょうが	オオミショウガ	5月中旬～11月	水戸市飯富町
2 ねぎ	夏扇4号	4月～12月	水戸市飯富町
3 にんじん	加工用品	8月上旬～12月中旬	常陸大宮市三美

作物別 かん水区における収量比

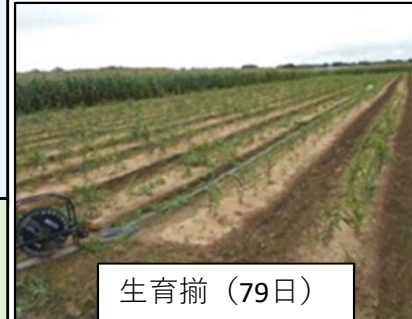
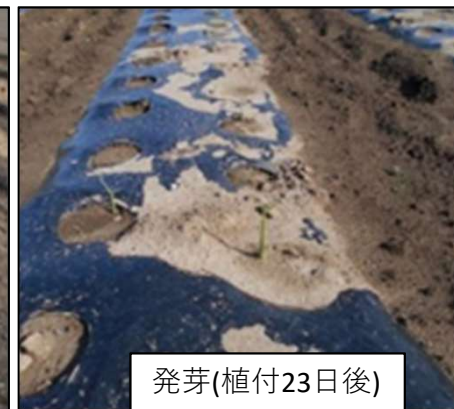
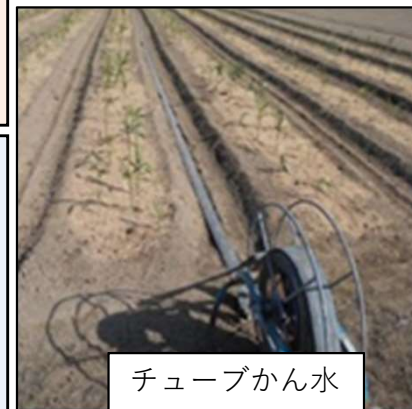


# しょうが

調査期間：令和5年5月～令和5年11月

## 調査条件

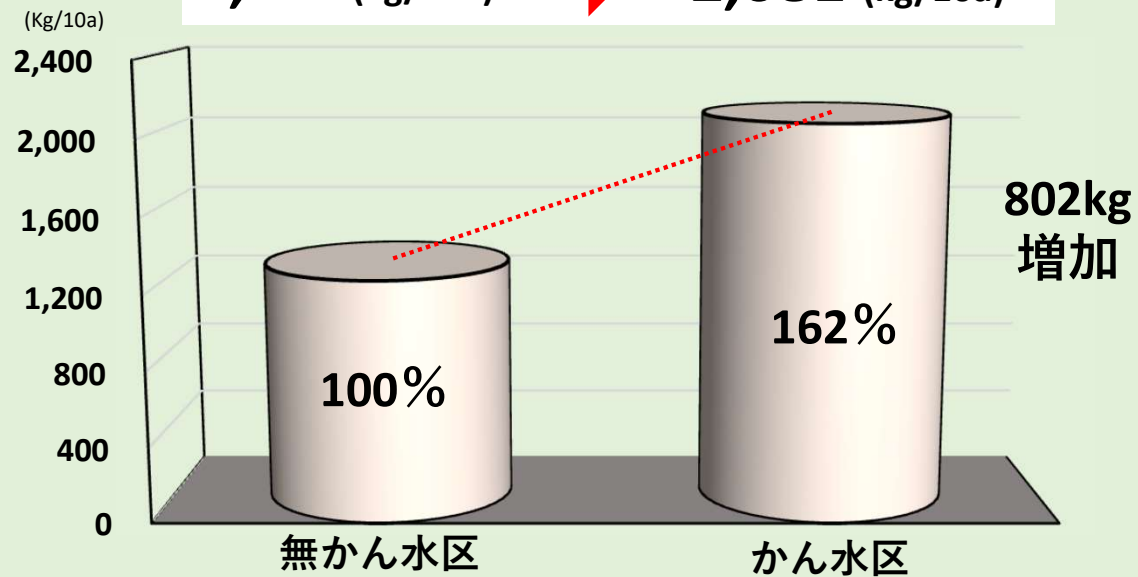
調査地区：水戸市飯富町  
品種：オオミショウガ  
植付：令和5年5月  
収穫：令和5年11月  
かん水方法：降水量2mm量相当（2L/m<sup>2</sup>）  
計5回実施



## 調査結果

### 10a当たりの収量

1,279(kg/10a) → 2,081(kg/10a)



- ・生育において、結球数は、かん水区で123%上回り、また収穫後の平均・結球重はかん水区で42.1g、無かん水区で24.1gとなり、かん水区の生育が良い結果となった。
- ・収量比については、かん水区2,081kg/10a、無かん水区1,279kg/10aとなり、かん水区の収量は62%増加した。

# ねぎ

調査期間：令和5年4月～令和5年12月

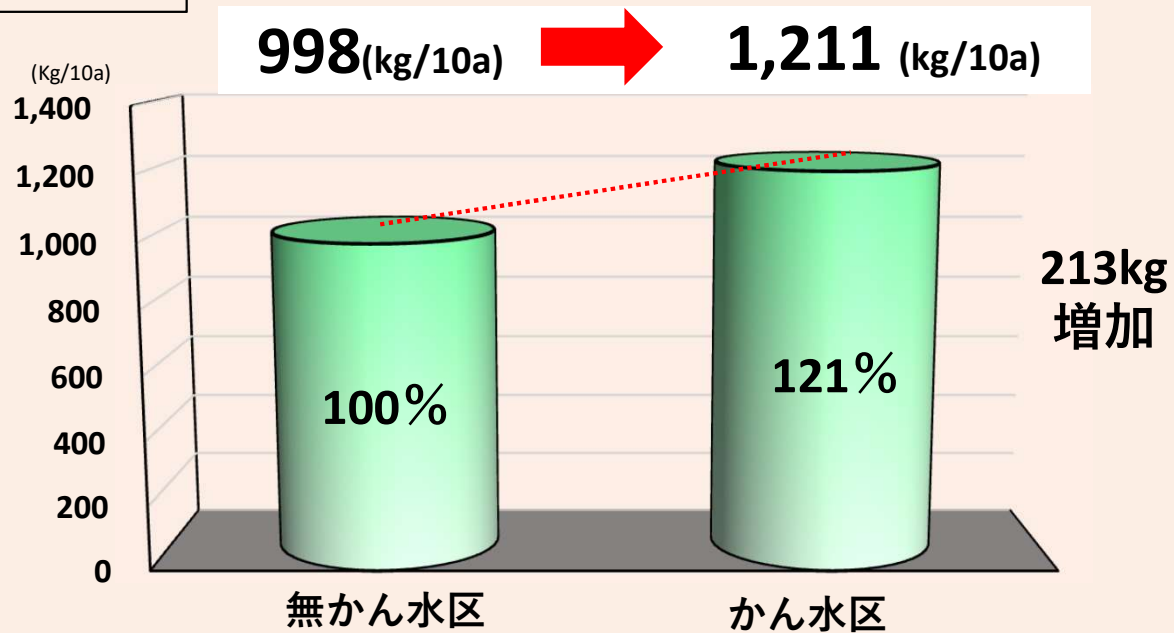
## 調査条件

調査地区：水戸市飯富町  
品種：夏扇4号  
定植：令和5年4月  
収穫：令和5年12月  
かん水方法：降水量2mm量相当（2L/m<sup>2</sup>）  
計3回実施



## 調査結果

### 10a当たりの収量



調整株を県出荷規格で比較した結果、かん水区において150g以上の株数が5割程度増加したことから、かん水区の生育が良い結果となった。  
収量比については、かん水区1,211kg/10a、無かん水区998kg/10aとなり、かん水区の収量は21%増加した。

# にんじん

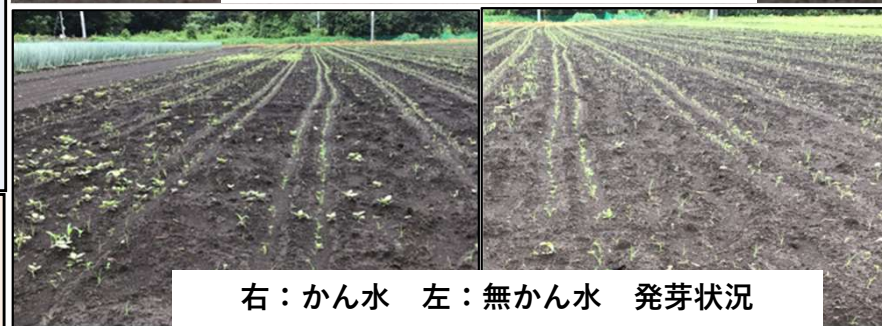
調査期間：令和5年8月～令和5年12月

## 調査条件

調査地区：常陸大宮市三美  
品種：加工用品種  
は種：令和5年8月  
収穫：令和5年12月中旬  
かん水方法：1回あたり1.7ℓ/m<sup>2</sup>  
計1回実施



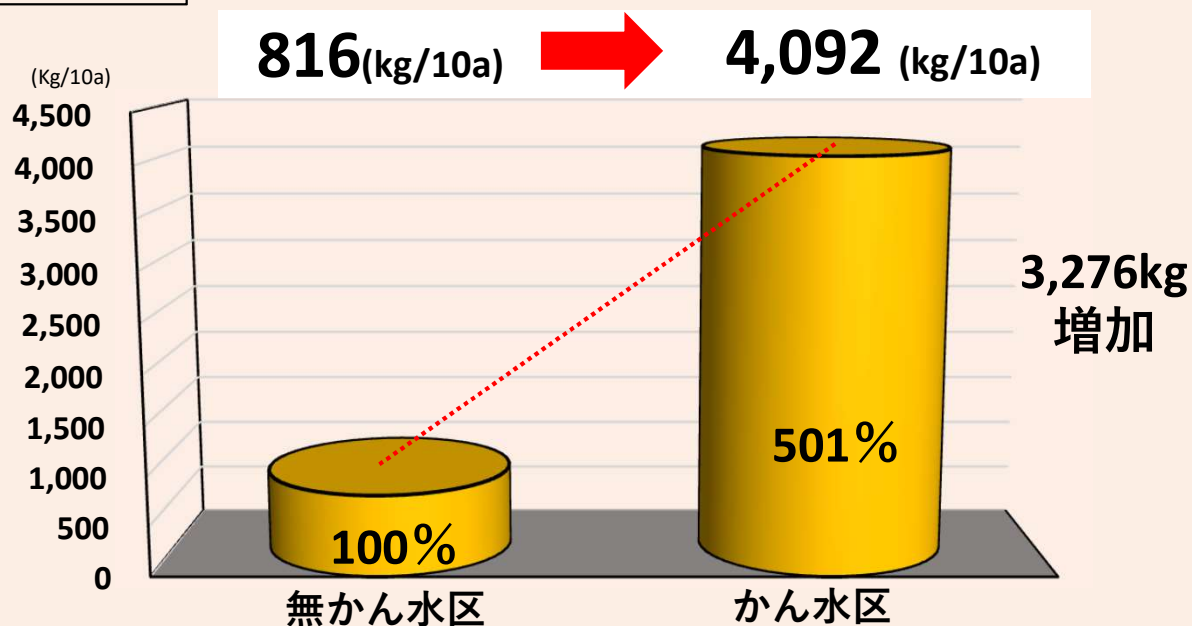
スプリンクラーによるかん水



右：かん水 左：無かん水 発芽状況

## 調査結果

### 10a当たりの収量



- ・播種後、30日間で降水があった日は3日間のみであり、また降水がない日は11日間連続となったことから、無かん水区の発芽は悪かった。  
そのため生育状況の確認では、無かん水区において欠株が多くみられた。
- ・収量比については、かん水区4,092kg/10a、無かん水区816kg/10aとなり、かん水区の収量は401%増加した。



上：かん水区  
下：無かん水区 生育状況

